

2021/7/1

連携大学院オンライン合同説明会

# 国立環境研究所の概要と 連携大学院制度の説明

国立研究開発法人 国立環境研究所

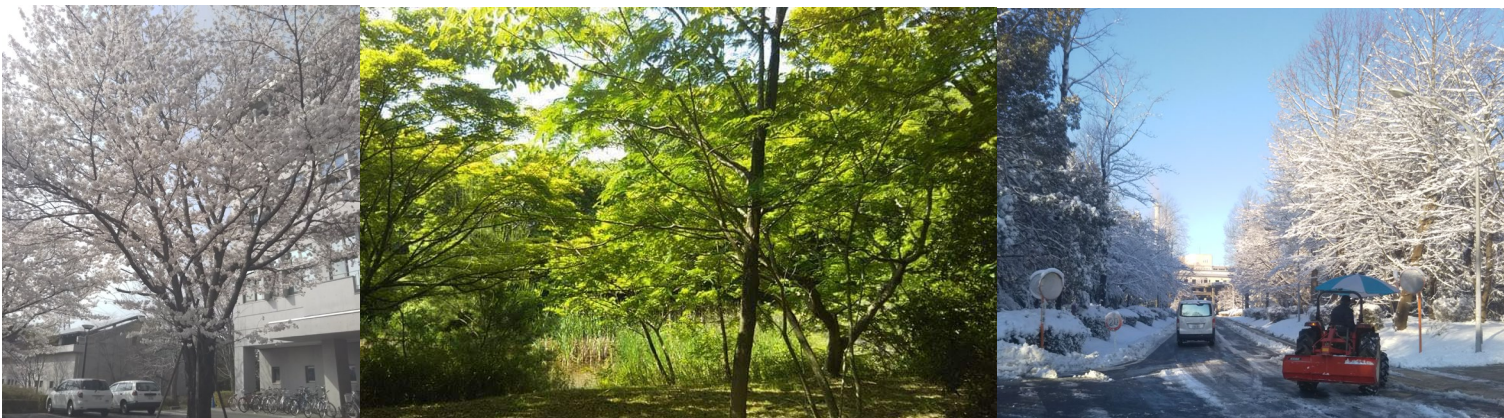
連携推進部研究連携・支援室



# 国立環境研究所ってどんなところ？

- 1974年に環境庁所管の国立公害研究所として発足
- 1990年に国立環境研究所へ
- 2001年に独立行政法人、2015年国立研究開発法人へ
- 2021年から第5期中長期計画スタート

**ミッション：**地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及び整備その他の環境保全に関する調査及び研究を行うことにより、環境の保全に関する科学的知見を得、及び環境の保全に関する知識の普及を図る



# どのくらいの研究者がいるの？

令和3年4月時点

計 964名 (女性54%、外国籍6%)

役員 5名

研究職員 223名  
(女性17%)

事務職員 72名  
(女性33%)

任期付 45名

特別研究員 89名  
(女性35%、外国籍42%)

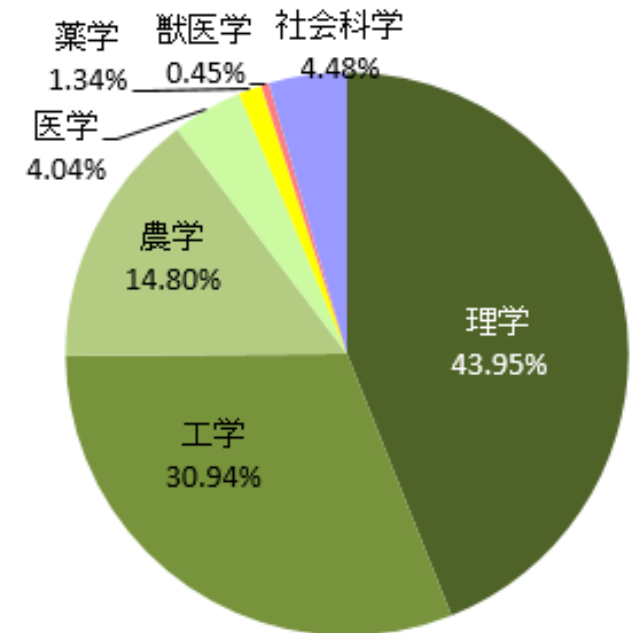
高度技能専門員  
239名  
(女性63%)

フェロー、准特別研究員、リサーチ  
アシスタント、シニア研究員 55名

アシスタントスタッフ 277名 (女性94%)

契約職員 計664名 (女性69%、外国籍8%)

研究職員 (博士) 223名の  
専門分野別構成  
(研究職員の博士の比率 95.5%)



# 組織体制と研究分野

- **6つの領域** (環境研究の柱)、5つのセンター (2つの**大型事業センター**)、2つの地方組織
- 環境省の政策体系との対応を踏まえた**8つの研究分野**を設置



## 地球システム領域

地球環境研究センター  
衛星観測センター



## 気候変動適応センター



## 社会システム領域



## 資源循環領域

## 災害環境分野



## 生物多様性領域



## 環境リスク・健康領域

エコチル調査コアセンター  
基盤計測センター



## 地域環境保全領域



地方組織

福島地域共同研究拠点  
琵琶湖分室

**連携大学院って何？**

# 連携大学院制度とは？

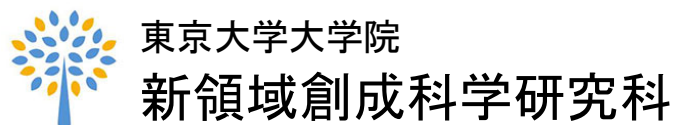
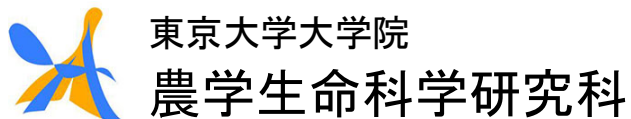
- 国立環境研究所と大学との間で協定を締結し、国環研の研究者が**大学教員（連携教員）**に就任して、大学院生を受入れ、研究指導や講義、学位論文審査などを行う制度。
- 大学で講義などを受けながら、連携教員の指導の下、大学や国環研で研究を行い、大学院の学位が取得できます。
- 国環研では研究生として受入れます。リサーチアシスタントとして雇用することも。



# どこの大学と連携しているの？



16の大学・研究科と協定を締結  
41名の連携教員

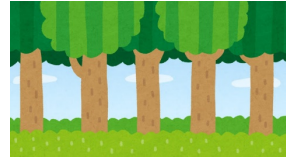


立命館大学  
(現在教員委嘱なし)

# どんなことを学べるの？



大気汚染

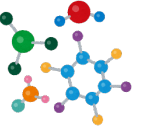


植物

生態系保全



化学物質



森林生態系



土壌



内分泌かく乱



生態毒性



地域

都市気候



水環境



災害



温室効果ガス



環境リスク



持続可能社会

脱炭素対策



気候変動  
と適応



プラスチック

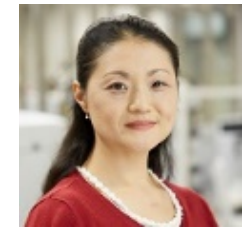
資源



リサイクル



生体影響・環境保健

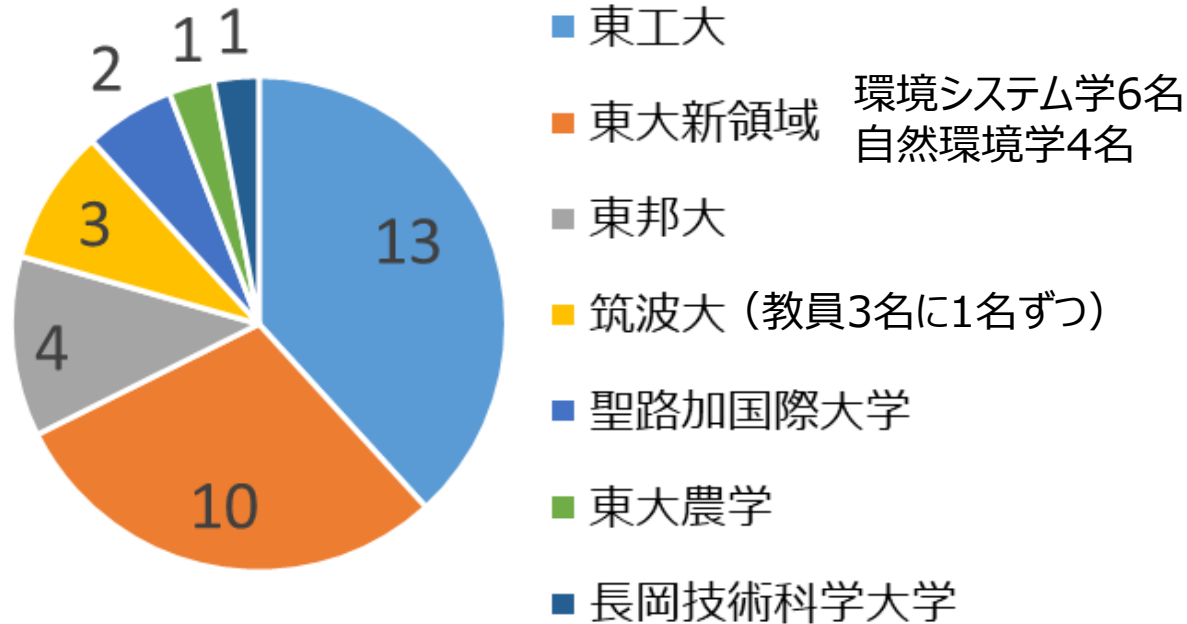




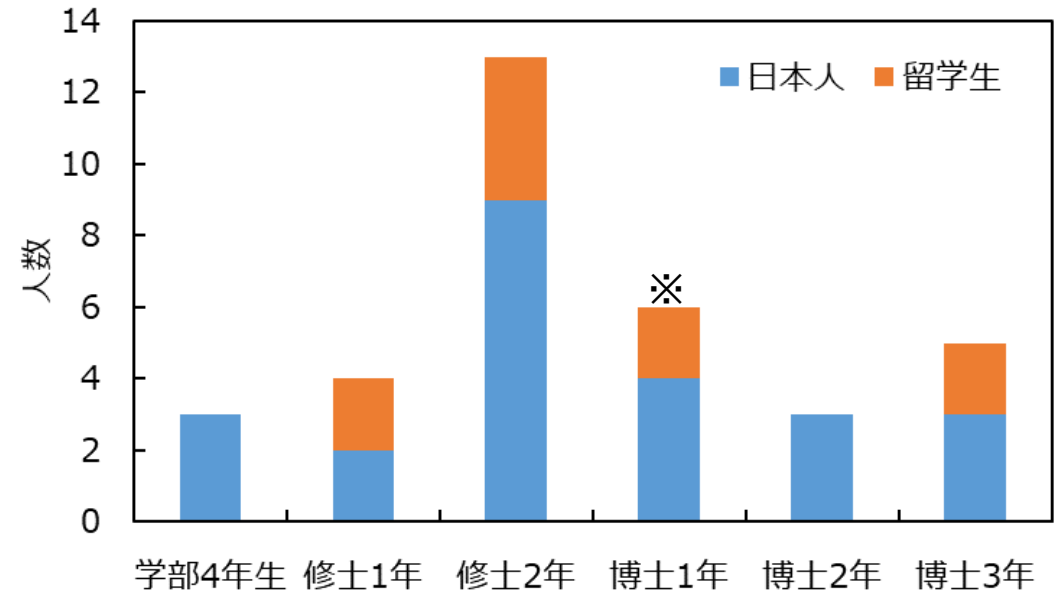
# 学生はどのくらいいるの？

- 教員41名中、現在26名が学生を指導中
- 各研究室1～13名、計34名

### 学生34名の内訳（大学別）



### 学生34名の内訳（学年別）



※学年不明な日本人2名、留学生2名を含む。  
留学生の出身は中国5名、ベトナム2名、フィリピン、ラオス、タイ1名ずつ（計10名）

**次は大学院生による研究生生活の紹介！**